

雪 割

山形県立寒河江工業
高等学校雪わり会

寒河江市緑町 148 番地
TEL (0237) (86) - 4278
FAX (0237) (86) - 2913

印刷所 寒河江印刷株式会社



冬来たりなば春遠からじ



会 長 須 稔
会 那

会員の皆様には、日頃から母校同窓会に、ご協力とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

本校は、今年で創立五十六周年を迎えることになりました。この間、九千余名を越える卒業生がこの学び舎を巣立ち、経済、教育、文化とあらゆる分野で活躍しております。また地元産業は勿論のこと中央・国内外でも幅広く活躍され、産業の振興と発展に多大な貢献をされております。

いま経済は、景気が緩やかに持ち直してきており、景気状況も回復に転じて経済を取り巻くムードは一気に明るくなりました。しかしながら、油断できない経済情勢にあると言われております。この様な経済状況の中に、企業においてはあらゆる手立てを講じ経営の好転に、大変な努力をされている現状があります。このよ

うな中でご活躍されている皆様方に心から敬意を表します。

冬は必ず春となるという言葉があります。春を迎える前に必ず冬を越えなければなりません。大いなる春に飛翔していくためにこそ、試練という冬を越えることが必要なわけですから、春となりますが、秋に逆戻りすることはありません。これは誰も動かすことの出来ない自然の法則です。そして、冬があるからこそ春の喜びがあるのだと思います。冬のごとき活動があつてこそ活躍の春が開かれるのだと思います。冬の間にこそ、どう活動し、どれほど充実した時を過ごすか。必ず来る春を確信し、どう深く生きるかそこに人生を活躍できる要諦があるのだと思います。

今日の息苦しい社会情勢の中で、卒業生の皆さんには、冬は必ず春となるを折りに触れて思い出して頂きたいと思います。最後に、母校の教育目標の具現化に向けて取り組まれておられる教職員の皆様に感謝申し上げますとともに、会員皆様方からのご支援ご協力を願ひ申し上げます。

学校長あいさつ



校 長 高 橋 剛 文

～新校舎建築に向けて～

同窓会の皆様には、日頃より本校の教育活動に對しまして、多大なるご支援を賜り誠にありがとうございます。

同窓会及び関係者の悲願であつた新校舎建築について、ようやく前向きな報告ができる段階になりました。簡単にご説明を申し上げます。

創立当時から校舎を現在も使用しており、10棟のうち6棟が耐震基準を満たしておらず、耐震改修も難しく簡易的な対策のみを施している状況です。

平成28年1月、「知事と語ろう市町村ミートイング」が寒河江ハートフルセンターで開催され、当時の本校PTA会長の要望に對して、知事からは「適切な時期を捉え整備に着手する」との回答を得ました。

その後、9月の県議会においても、「平成29年度末、山形工業高校の整備後にできるだけ早い時期に」と知事答弁がなされ、期待が大きく膨らむこととなりました。

推移を見守りながら、平成29年10月31日には、同窓会長、PTA会長、後援会長（寒河江市長）の三者連名による要望書「山形県立寒河江工業高等学校教育施設の整備促進について」を、県教育長に提出し、一層の推進を要望致しました。

そして平成30年2月、県立高等学校校舎整備事業費として、約13億円が次年度当初予算に計上されました。しかし、山形工業高校、鶴岡工業高校のグラウンド及び体育館整備に目を奪われ、本校の校舎改築の認識が浸透せぬままになっておりました。県立高校としては初の試みである、PFI手法導入検討の予算計上でしたので無理のないところでは、その後、3月下旬にようやく山形新聞に掲載され、校舎改築の事業着手が何とか皆さんに周知されました。

さらに、平成30年9月、同窓会長が知事あてに整備促進を要望するために県庁を訪ねております。

平成30年度、以下のような業務を実施致しました。(1) 導入可能性検討調査(2) 敷地測量(3) 地質調査(4) 土壌状況調査計画策定(5) 既存校舎等アスベスト含有調査。【PFI手法とは、民間資金等を活用した公共施設等の整備などのこと。公共施設の建設、維持管理及び運営等に、民間の資金、経営能力及び技術能力を活用すること。】

今後の大まかなスケジュールは、(1) 事業者選定手続き(2) 要求水準書(従来の仕様書に相当)の作成(3) 入札関連業務(4) 議会の承認(5) 基本設計・実施設計と進みます。そして、2022(2023)年度に校舎・体育館の建築を実施、翌2024年度以降に旧校舎解体、グラウンド整備と進む計画であります。

紙面の都合上、雑駁な説明となりましたことをお詫びいたします。最後に、今後とも本校に対する変わらぬご支援をお願い申し上げます。



こんな形の椅子、テーブルの金属製脚部を、作っています。

OSK

椅子、テーブル金物 設計・製作・販売 本社 〒991-0045 山形県寒河江市小沼町13-1
TEL 0237-86-2737 FAX 0237-86-1040
工場 〒991-0043 山形県寒河江市血沼西831-3
TEL 0237-83-0075 FAX 0237-86-0076

オーエスケ株式会社

TPR

Reliable Technology Leads the World.

確かな技術で世界をリードする。

T P R工業株式会社

代表取締役社長 矢野和美

〒990-0561 山形県寒河江市中央工業団地1番地
TEL 0237-86-4131 (代) FAX 0237-86-1081 (代)

第29回 同窓会総会

第二十九回山形県立寒河江工業高等学校同窓会総会が、平成三十一年一月二十七日寒河江市内の「ホテルサンチェリー」にて盛大に開催されました。

参加者は母校高橋剛文校長先生はじめ、母校の職員、会員約四十名が参加してくださいました。総会での那須稔同窓会長のあいさつでは、今年は創立五十六周年目を迎え、卒業生が約九二〇〇名となり、県内はもとより国内外で活躍している皆様へ敬意と感謝を述べられました。また、二〇二四年完成予定の新校舎について、期待し

ながら活動していきたいと語られていました。

総会では那須会長を議長に、報一号平成二十九・三十年事業経過報告にはじまり、議三号議案の二〇一九・二〇二〇年役員選出まで慎重審議されました。

特に、役員改正では、これまで長年同窓会へ大きく貢献されてきました、大沼栄司副会長、宮林春彦副会長、阿部明監事が退任されることになりました。三名の方々には、これまでの感謝を敬しまして感謝状と記念品が贈られました。その三名の後任として、浜島保雄

新副会長、西堀智彦新副会長、白田秀朋新監事が選出され、新体制にて力強くスタートすることとなりました。総会の最後は、これからのさらなる母校の発展を期待し、参加者全員

で校歌斉唱を行い、無事終了いたしました。

総会終了後、懇親会が開かれました。そこでは、母校職員から学校の活動状況、生徒の活躍、機械科・電子機械科、情報技術科の取り組みなどのお話をいただきました。参加者は高校生の頃を懐かしみ、大いに昔話に盛り上がり、親交を深めている様子でした。



校歌

柳保太郎作詞
磯部 敏作曲

一、遠くを 月山は呼ぶ
懐かしき あの山ふ山
やまの生命の教を
大いなる 真理を求め 今日学ぶ
われら われら 輝くエジニアー

三、清らなり 最上の流れ
思いよは あつ河の河
うわいの 雪割草よ
青春の心は燃えて 今日誓う
われら われら 輝くエジニアー

三、とどろけり 世紀の声よ
新しき あの星の星
明けわたる日本の未来
知と愛の理想は高く 今日進む
われら われら 輝くエジニアー

ブロードバンド対応の最新シティホテル

ホテル サンチェリー

寒河江市本町一丁目2番23号 ☎(0237)83-5000(代)
ホームページ <http://www.suncherry.com>

源泉かけ流し100%

庭園 大露天風呂



寒河江温泉
こころの宿

いちりょう 龍

寒河江市本町一丁目2番27号 ☎(0237)86-2233(代)
ホームページ <http://www.ichiryo.com>

平成31・32年 新役員紹介



会 長
那 須 稔

昭和44年 土木科卒業
寒河江市末広町
那須労働安全リサーチ
ラボラトリー事務所



副会長
後 藤 潤一郎

昭和43年 電気科卒業
寒河江市丸内
渡辺ヒーティング(株)



(新)副会長
浜 島 保 雄

昭和50年 電気科卒業
寒河江市南町
(株)浜島電工



副会長
志 田 義 男

昭和52年 機械科卒業
寒河江市緑町
寒河江市役所



(新)副会長
西 堀 智 彦

昭和50年 電気科卒業
寒河江市末広町
ひまわり幼保園



監 事
安 食 清 志

昭和53年 電気科卒業
寒河江市大字柴橋
(株)日東ベスト



(新)監 事
白 田 秀 朋

昭和61年 機械科卒業
寒河江市緑町
東北電気保安協会

平成31年 事業計画

- 1月22日・第29回同窓会総会
第2回実行委員会
- 1月27日・第1回常任理事会
第29回同窓会総会
- 2月21日・同窓会入会式
- 2月28日・同窓会新聞「雪割」
第25号発行
- 3月3日・第54回卒業式
- 3月26日・新入生オリエンテーション
にて終身会費納入お願い
- 4月8日・第56回入学式
新入生終身会費納入
- 5月上旬・第1回理事会
- 9月中旬・第2回役員会
- 10月中旬・第56回創立記念式典
- 12月5日・第56回創立記念日

平成30年 事業報告

- 2月22日・第53回同窓会入会式
新理事 電子機械科 惣田健太郎 君
- 3月3日・第53回卒業式
- 3月27日・新入生オリエンテーション
にて終身会費納入お願い
- 4月9日・第53回入学式
平成30年入学生同窓会終身会費納入
- 5月18日・第1回理事会
- 9月4日・県教育長へ学校教育設備購入要望
- 10月25日・第55回創立記念式典
- 11月9日・プロフェッショナルに聞くトップ
セミナー 鈴木秀幸氏 講演
- 11月15日・第1回役員会
- 12月5日・第55回創立記念日
- 12月12日・第2回理事会
第29回同窓会総会
第1回実行委員会

平成29年 事業報告

- 1月24日・第28回同窓会総会
第2回実行委員会
- 2月5日・第1回常任理事会
第28回同窓会総会
- 2月22日・第52回同窓会入会式
新理事 情報技術科 齋藤尚輝 君
- 2月28日・同窓会新聞「雪割」第24号発行
- 3月3日・第52回卒業式
- 3月27日・新入生オリエンテーションにて
終身会費納入お願い
- 4月7日・第54回入学式
平成29年入学生同窓会終身会費納入
- 5月19日・第1回理事会
- 10月18日・第54回創立記念式典
- 11月17日・プロフェッショナルに聞くトップ
セミナー 志田義男氏 講演
- 12月5日・第54回創立記念日

石 山 鉄 工 所

寒河江市大字寒河江字石田65
☎ 84-4161 (代)



大富建設株式会社

代表取締役 大 泉 富 博 (昭和43年)

〒990-0513 山形県寒河江市大字日和田886
TEL (0237) 83-2061 FAX (0237) 87-3256

機械科の取り組み

近年の機械科の状況を報告いたします。平成二十八年・二十九年年度のメカトロアイディアコンテストでは二年連続で全国大会出場を果たし、本年度はアイディア賞を受賞しました。また、昨年度よりおこなわれました、山形新聞社主催やまがた高校生ロボットコンテストでは昨年度は準優勝、そして今年度はみごと優勝に輝くなど、ものづくり分野での生徒の活躍が多く見られました。

また、資格取得にも積極的に挑戦しています。その中でも国家資格である技能検定には特に力を入れています。種目は機械検査・旋盤作業・シーケンス制御・機械保全・マシニングセンタ作業・テクニカルイラストレーションCADと六種目となっています。放課後などは実習室から工作機械の金属音が聞こえ、一生懸命練習に取り組んでいる生徒の姿が頼もしく感じられ、未来の日本産業を担っていつてくれるのだと期待しています。

本校創立と共に歩んできた実習設備もだいぶ古くなり、四十年を超える多くの工作機械などがまだ現役で使用されています。卒業生の方が見れば懐かしそう光景がいまだに残っています。そんな、歴史ある寒河江工業高校機械科で学んだことを誇りに社会で活躍していただくことを心より願っています。

今後とも同窓会の皆様にはいろんな場面で本校の教育活動に御支援と御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



電子機械科の取り組み

電子機械科では、マイコンカー製作を実習の柱として、電子技術、機械技術、制御技術の学習を通して、人間性豊かで創造性に富む技術者の育成を目指して取り組んでいます。

今年度の電子機械科の取り組みを振り返ってみます。初めに各種コンテストについては、先輩たちの残っていた技術・技能を後輩たちが受け継ぎ、本年度も活躍することができました。六月のものづくり県大会には二名が出場しました。九月に行われた薔薇杯マイコンラリー競技会においては二位・三位という好成績を収めました。また、十一月のマイコンラリー山形県大会では、二名がアドバンスクラス・ベーシッククラスの両部門で見事全国大会出場を決め、一月に東京にて開催された大会に出場しました。

次に学習面では、例年行っている企業の方や本校OBの方々の協力を得て、はんだ付け講習会や技能検定、電気工事士等の資格取得に向けた技術講習などを行い、技術力向上を図ることができました。そしてジュニアマイスターゴルドの取得者が二名、シルバー二名、ブロンズ二名という素晴らしい成績を収めることができました。

今年度の進路に関しては、十一月には全員が決定しました。就職者は十九名、大半が地元企業への就職であり地元産業の担い手となってくれればと思います。また進学者は十名、県立産業技術短大をはじめ、大学・専門学校などに合格しています。

今後とも皆様のご発展をお祈り致しますとともに、更なるご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



情報技術科の取り組み

同窓会の皆様には、日頃より本校の教育活動に対し、格別のご支援を賜り深く感謝申し上げます。

情報技術科では、学校から地域に情報を発信することで、地域の方々に普段学習していることを知っていただき、また、地域社会にものづくりを通して貢献することを目指して、日々の学習活動に取り組んでいます。

今年度も地域貢献の取り組みとして、八月一日に本校を会場に「ものづくり体験教室」を実施しました。当日は寒河江市内の小学生と保護者あわせて25名が参加し、「ペットボトルを用いた燃料電池づくり」が行なわれました。はじめに燃料電池の仕組みについての説明があり、その後、情報技術科の生徒が作業のお手伝いをしながら、食塩水や鉛筆の芯を使って燃料電池の製作を行いました。作品が完成すると、子供たちは早速LEDを点灯させたり、電子オルゴールを鳴らしながら、電気の流れについて理解を深めていました。

課題研究では「3Dプリンタを用いた教材製作」を行い、今年も山形盲学校と連携しながら製作交流を行っています。また、やまがたマイカーズネットワークと協力して、本校で組立て及び調整を完了した3Dプリンタを寒河江市立陵南中学校に寄贈しました。十月十七日の贈呈式後には3Dプリンタの講習会を実施し、今後、陵南中学校と連携して3DCADによる3Dモデル製作の講習会や、プリンタのメンテナンスを行うていく予定です。

情報技術科ではこれまでの歴史や伝統を継承しつつも、日々進歩し続ける情報化社会に対応すべく、新たな分野にもチャレンジしながら教育活動を行っています。このように考えており、同窓会の皆様には引き続きご支援を宜しくお願い申し上げます。



電化製品・電気工事・住宅設備



信用と技術の店

斎藤電器(株)寒河江店

寒河江店／〒991-0003寒河江市西根上川原363-9

TEL(0237) 86-5133

FAX(0237) 86-5134

技術で創る豊かな未来



布施建設株式会社

代表取締役 布施 健

本社／山形県寒河江市南町三丁目3-35
http://www.fusekensetsu.com

☎(0237) 86-4225
FAX(0237) 86-4237